

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	腹膜透析患者における骨型アルカリフォスファターゼ(BSAP)及び酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)の動態に関する研究
研究責任者	小野 慶介
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>腹膜透析患者さんは、一般の集団よりも骨折のリスクが高いことが知られています。骨折によりサルコペニアやフレイルに陥り、生命予後を悪くする可能性も危惧されています。一般の集団では、骨折の大きな原因は骨粗鬆症と言われています。透析患者さんにおいては、骨粗鬆症の診断が難しいこともあります。透析患者さんの中でも骨粗鬆症と診断され、治療を受ける人が増えています。近年、骨粗鬆症特異的な薬とそれらの薬をモニタリングする検査は劇的に進化しています。これらの薬は腹膜透析患者さんにも使われることが多くなりましたが、モニタリングの検査については、一般の集団と同じように腹膜透析患者さんでも使用できるのかは不明です。これらのことから、骨形成マーカーであるBSAP、骨吸収マーカーであるTRACP-5bが、腹膜透析患者さんにおいてどのような動態をとるのかについて研究を行うこととなりました。</p>
研究方法	<p>2016年4月から2020年3月まで、当院に通院していただいた腹膜透析患者さんの検査データを使用させていただきます。半年ごとの定期検査の際に採取されている項目を使用させていただくため、新たに血液を採取する必要はありません。</p> <p>この研究に関して、患者さんに行っていただくことはありません。また、費用もかかりません。この研究では、当院で管理している患者さんのデータを使用させていただきます。解析の時点で情報は匿名化され、個人情報には保護されます。また、研究成果が学会や学術雑誌で発表される際にも、個人を判別できるような情報は利用しません。</p> <p>研究への参加辞退をご希望の場合には、担当医師へご連絡下さい。本研究への参加の辞退を希望された場合でも、患者さんに一切の不利益はありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：小野 慶介 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>